

## 細江カトリック教会だより

11月、12月合併号

〒750-0016 下関市細江町1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura.ne.jp>

### 2020年を振り返って



年末が近づき、待降節・降誕節、そして新年を迎える忙しい時期になりました。ちょうど1年前の今頃、日本の教会はフランシスコ教皇来日に湧いた時期でしたが、今年は年初から新型コロナウイルス感染症対応に明け暮れし、ひょっとすると、昨年したことなど、すっかり忘れてしまっていたかもしれません。何もかもが中止になったり、延期や縮小を迫られたり、教会からすっかり足が遠のいてしまった方もおられるかもしれません。コロナの一日も早い終息を願うことより、コロナと共に生きる道を模索する方向へと舵を切ることが求められている気がします。

今年一年は、まれにみる年、いわば、全世界が砂漠のような状態に引き入れられた年と言ってよいかもしれません。砂漠は人間が長く生き続ける世界ではありませんが、当たり前と思っていた世界を見直す目を与え、上に向かって伸びるよりも、深く根を張る、そして、より大きく成長するためにどうしても欠かす

ことのできない場であり、時でもあるのでしよう。「新しい生活様式」という言葉をよく聞きますが、それは決して、感染予防をしっかりと守るということだけではありません。ないものねだりをしたり、ひたすら理想を追い求めるのではなく、むしろ、与えられたものの大きさにあらためて目を向けて生きるということであらうかと思えます。いたずらに早く、高く、強くなることを追求するのではなく、まわりを見、後ろを振り返りながら、ゆっくり歩むことでもあるのでしよう。東京オリンピックが延期されたことは、一つの象徴的な出来事だったのかもしれない。

そんな時に、昨年たくさんのメッセージを残してくださったフランシスコ教皇は、今春いち早く、コロナ禍に怯え惑うわたしたちに、励ましの満ちた言葉を発してくださいました。7月に邦訳が発行された『パンデミック後の選択』という題でまとめられた講話集の中で、教皇は、このコロナ禍を、新しい選択の好機だと前向きにとらえておられます。また、多くの人々と連帯し、特に、最も傷つきやすい人々を中心とした社会を作り出す時であるとも言われます。この深い痛みを多くの方々と共有し、わたしたちの生き方、考え方を繰り返し見直し、修正し、必要なら転換することができるよう、聖霊の導きと識別の恵みを願いながら、お生まれになる主イエスが、わたしたち皆に真の喜びと希望を与えてくださるようお祈りいたしましょう。

作道 宗三 神父

## 地区だより VI



## 本町地区

## 『今日 この頃』

偉大なるものの存在はいつ頃から認識するようになったのだろう。記憶に残っているのは自然への憧憬と雄大さだった。到底おさない自分の手では創り出せる技も能力もないので、どのようにしてこの世界を、地球を創り出したのだろうという不思議さを感じた。単純な発想からだった。音楽・芸術・文学で神を身近な存在としてうけとめようと心がける自分を見るのが時としてある。人がいるからこそ、神と共にいるからこそ、日常生活を豊かに過ごせるという、感謝の念が深まる。

今年2020年は、新型コロナウイルスと闘っている人類、神さまは私たちと共におられます。きっと希望に溢れる未来があります。そうゆう願いを持って今を生き抜きます。

桂 玲子

## 天使幼稚園だより

## 第69回 下関天使幼稚園 運動会



今年度は、新型コロナウイルスの影響により、様々な行事の内容を変更や縮小せざるを得ない状況です。そういった状況の中、運動会も全園児で行うのではなく学年ごとの開催となりました。本来であれば教会の方にも参加していただいていたのですが、密を避けるために参加を控えていただきました。ご協力ありがとうございました。

「心のつながり大切に みんなで伸ばそう強い根っこ」のスローガンのもと、子どもたちは練習に取り組んでいきました。Aさん(年長児)のパラウェイブでは今年大流行している

「鬼滅の刃」の主題歌で表現しました。表現体操は「コロナに負けるな!!世界を元気に」をテーマにし今まで対策してきたことなどを体で表現していきました。あまり触れないように密にならないようにと考えながら担当の先生は子どもたちと一緒に内容を考え取り組んでいました。

年中児は自分が選んだ手具(リボン体操かフラッグ体操)の体操を最後まで選んだ責任をもち、取り組むことができました。また、今年は「しっぽ取り」を取り入れ、しっぽを取る、取られないように逃げるといった競技を行いました。俊敏性を鍛え年長児のドッジボールに繋がっていきます。

年少児は、リズム体操と棒体操をしました。するかしないかの選択をし、年少児らしく元気いっぱい表現をしていました。各学年の子どもたちの頑張る姿にとっても感動しました。

保護者の皆様も、今年度初めて子どもの頑張る姿を見ることができ、子どもの成長を感じることができたのではないかと思います。教会の方に子どもの取り組む姿を見ていただけなかったことはとても残念ですが、新型コロナウイルスの終息を願い、来年度は多くの方に子どもの頑張る姿をお見せできるように私たち職員も日々の保育に取り組んでいきたいと思っています。

真浦 秀樹 先生



## 聖体奉仕者というお役をいただいて

地区の集まりで、お願いされてしまいました。特別な方がなさっていると思っていたお役を、私などがという思いでした。なかなか承諾しましたと言えない私に、何人もの方が「大丈夫よ」と言ってくださいました。

そういう訳で何とかやるしかない、御ミサの都度、他の方々のご聖体をお配りする様

子を拝見し、どの日も滞りなく流れていきました。

幸運だったのは、聖体奉仕者・侍者のための神父様のお話を伺えた事でした。3回にわたって丁寧に話くださった内容は、ごく当たり前で難しいことではありませんでした。

私たちが日々の生の源とし、大切にしているご聖体をお配りする。ご聖体をいただく方の手に乗せる指は私の指ですが、この指を通して<sup>たゆ</sup>弛まざる力が伝えられるのです。

この力こそ神さま！

私は神さまをお配りしているのです。

柳沢 佳枝



津和野 秋の巡礼 11/3



昨日の雨が止み、太陽の光が差しこんでくる乙女峠の朝。マリア聖堂の広場で、大西神父さまと山根神父さま、山口教会の外川神父さまと信徒、一般の方を含めて約50名のミサに与りました。

大西神父さまは、「神さまの愛情、そこに繋がっていかなくてはならない。・・・マリアさまが十字架の横にたたずむ姿と、また弟子たちがマリアさまに集って祈っている姿によって、わたしはそのことを今日強く思わされました。この私たちもゆうなれば、末裔だし、その真似事・・・弟子たちの(マリアさま)の真似事をしている私たちは神さまに錨を下ろして、この先を進んでゆきたいと・・・思います。」と、語られました。

コロナ禍の中、お恵みのミサに感動しました。

マリア聖堂から、殉教者「至福の碑」へ。風の音と時折太陽の光が差し込む十字架の道行きは、歩く足音と祈りの声が山の樹々に響き渡っていました。(こんどう)



\*十字架の道行き、至福の丘で。

七五三(子どもたち)の祝福 11/15



\*デイン神父さまの祝福を受けるカスタンニューダ ファミリーの元気な子どもたち。

なぜか、私たちは嬉しくなりました。

~~~~~

3人の子どもたちが祝福をいただく時、大きくなったな、と感慨深く、これまで大きな怪我や病気がなく成長してこれたことに神さまの大きなお恵みを感じました。まだまだこれからもっと大きく成長していくことと思いますが、これからも神さまに信頼し、祈りとともに、心豊かに歩いていけたらいいなと思います。



アンナ カスタンニューダ 靖代

## 子どもとみんなの食堂

## 「ロクスひよりやま」 11/18(火)

『子どもとみんなの食堂』は毎月第三水曜日の16:00～労働教育センターで開催されます。

「来られた時の子どもたちの顔と、食事をして帰っていく顔がとても違っていましたよ。みんなで楽しく食べることは笑顔になる！ぜひ、教会の親子やお友達もお誘いして、楽しいひと時をお過ごしください。来てくださいね！」と、中井センター所長談。もちろん、ソーシャルディスタンスを守っての開催です。

次回は12/16。

ディン神父さまとベトナムの青年たちも加わって、



楽しい出会い。ハンさんが「パプリカ」の歌を披露し、拍手喝采を受けました。



## 11月のひとコマ

幼稚園の防犯訓練で...

この人は誰でしょう？



階段を登って、フェンスを乗り越えようとする「不審人物は誰だ！」アン神学生が一役買ったの演技。(大笑い！の場面でした。)

## 待降節黙想会とクリスマスの案内

## 黙想会

☆彦島教会☆12月 6日(日) 9:00～  
講師：外川直見神父(山口)

☆細江教会☆12月13日(日) 9:00～  
講師：作道宗三神父

☆長府教会☆12月20日(日) 9:00～  
ミサ・聴罪司祭：作道宗三神父

## 主の降誕ミサ

☆ 細江教会 ☆

12月19日(土) 18:00

ベトナム語 クリスマスミサ

12月24日(木) 19:00

12月25日(金) 11:00

☆ 彦島教会 ☆

12月24日(木) 19:00

12月25日(金) 10:00

☆ 長府教会 ☆

12月24日(木) 19:00

12月25日(金) 10:00



深夜ミサ 12月31日(木) 23:30



新年のミサ

2021年1月1日(金)

彦島教会 10:00

細江教会 11:00

長府教会 10:00

## 編集後記

コロナ禍で苦しんでいる方々のために祈りましょう。一人ひとり、また自然(地球)のいのちを守りたいと、切に思う一年でした。

来年は牛(丑)年です。希望やメッセージ等、皆さまからの投稿をお待ちしています！

広報委員会